

あれから一年 復興はどうなったか?



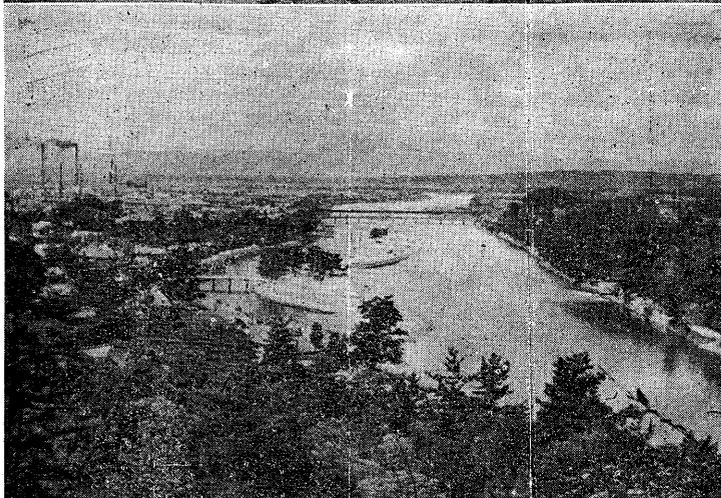
発行所
京都市中京区東本願寺町一六〇の一
宇治市役所
編集兼発行人
京都府宇治市長松井隆之助
電話 宇治四四七番
毎月一日発行 一部三円
宇治市 印刷所
印刷所 新進堂



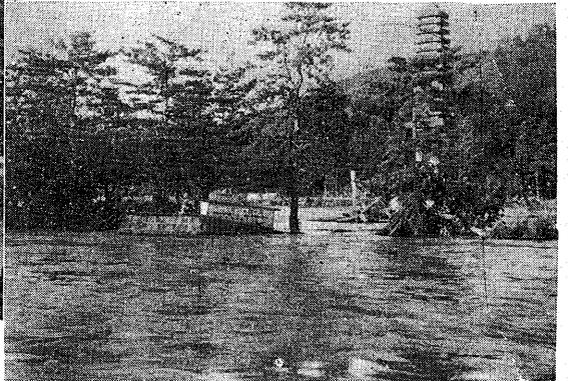
昭和28年13号台風災害復興画報

われわれ市民にとつて、忘れることの出来ない、昨年九月二十五日。その運命の日が、ことしもめぐつて来た。どろ水と石原の中から、立ち上つたあれからの一年。農地に道路に、商工観光の地帯の再建に、復興は直ちに建設につながつて行かれたのである。今ここに復興宇治市の歩みをこれらの写真によつて見るとともに「災害は再びくり返してはならぬ」の決意を新たにす次第である。

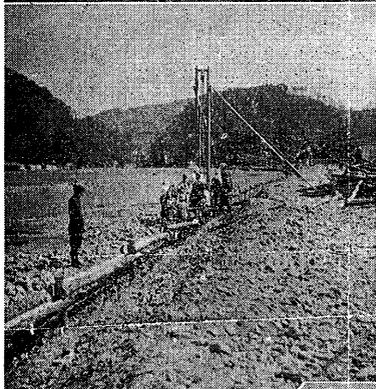
水原后の塔の島
喜掛橋も落ちて脚だけ ↓



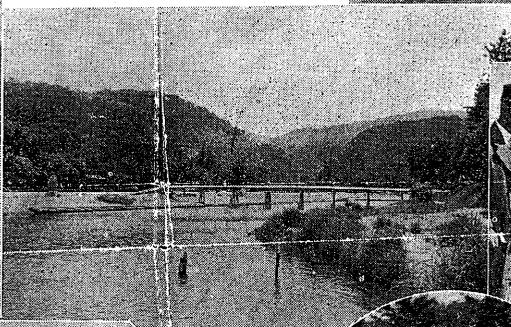
宇治観光の眼目、復興途上の塔の島 ↑
(29年9月13日写)



中央要人の視察つづく、大野内務相に説明の山崎市長ら (28年10月26日写) ↓



塔の島護岸の抗打ち ↑



急がれる喜掛橋の架設 (28年12月22日竣工初め) ↓

今年は早熟栽培でとほり切つて牛をつかう農夫 (28年6月5日) →



↑
橋橋も竣工して整理された中の島一帯 (29年4月写)

男々と総つた千拓田の稲刈りは楽しい (29年9月7日) ↓



活躍する災害復興委員会 入札情况もロープレコーダーにとられている (29年2月) ↓



躍進する宇治市 土木篇

河川

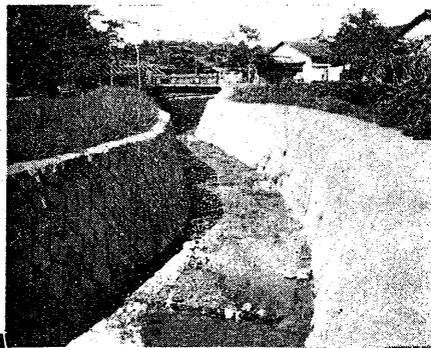
戦中、復旧箇所十ヶ所、その完の一部分をここに集録したのである。

昭和29年度事業も殆ど測量設計を完了し、工事費4200万円 十三ヶ所が一せいに着工される運びであり、29年発生の新災害も十三ヶ所、2300万円が設計されているが、宇治志津川線等交通不能におちいらしめている重要路線十三号台風による昭和28年度復旧工事、昭和29年度施工工事と並行して着工完成する方針である。

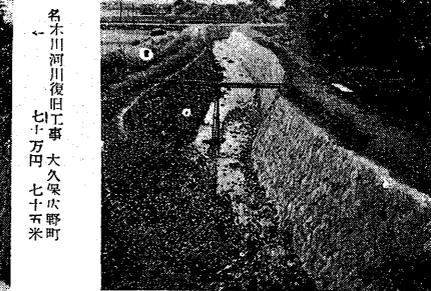
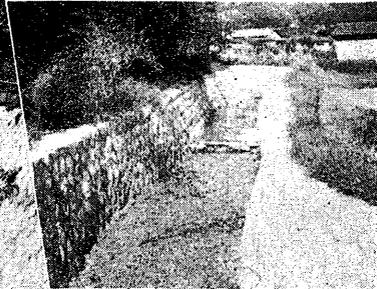
◆河川の確保も盛々着工◆

宇治志津川線の天ヶ瀬吊橋と志津川発電所の間開七十米の消流はプレート、ガーター、ブリッジ(鋼板桁橋)として近くお目見えが、近代土木工学の粋を極めた一大奇蹟の完成は、宇治市に新たな観光資源をもたらすであらう。

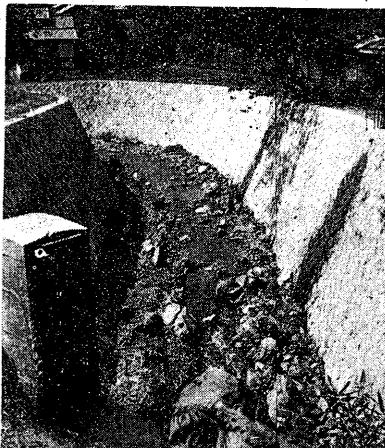
三千米
道落が六
新田川、
橋等の橋



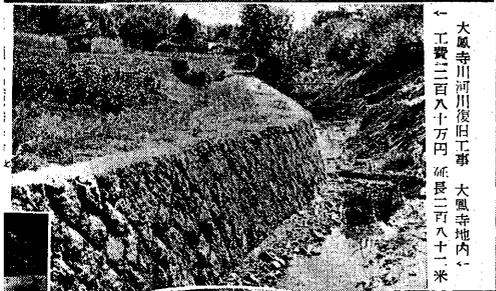
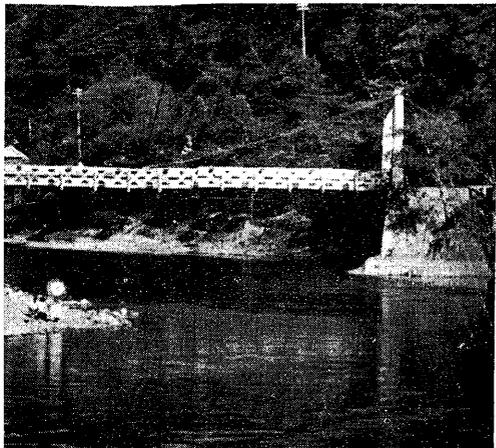
新田川河川復旧工事
五ヶ庄新田地区内 二百七万円
工事延長 百八十二米



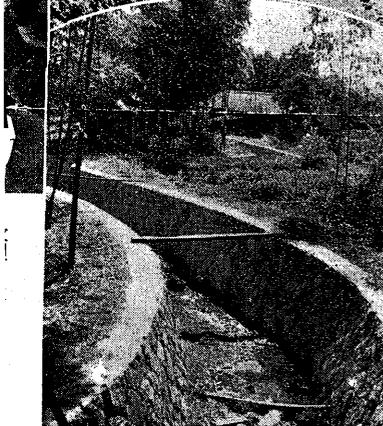
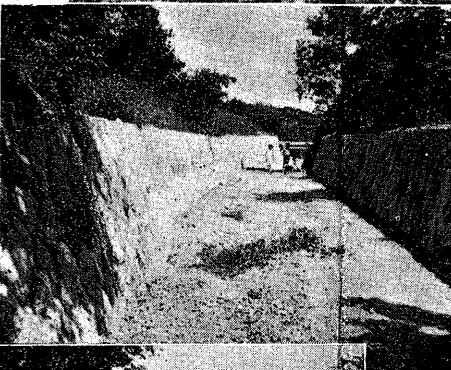
名木川河川復旧工事 大久保水野町
工事延長 七十五米



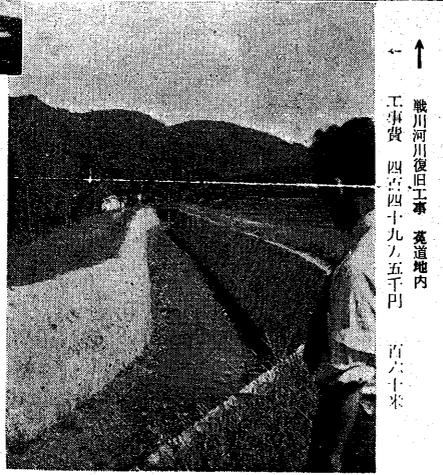
志津川支川池ノ尾川河川復旧工事 工費二百九十万円
(志津川地区内)



大風寺川河川復旧工事 大風寺地区内
工事三百八十万円 延長二百八十二米



名木川河川復旧工事 大久保水野町地区内 100万円 1.6米



戦川河川復旧工事 養道地区内
工事費 四百四十九万五千円 百六十米



水没中の公民館



伊勢田に新築
↑した三世傳家
屋



濁流に崩壊した遊田家屋の現場

水没後半月も泥水の中につかっていた西目川の公民館は補修されて面目を一新した

小倉の校地地遊田地区の浸水家屋は、伊勢田の高地に移住立派に再建した

道 路

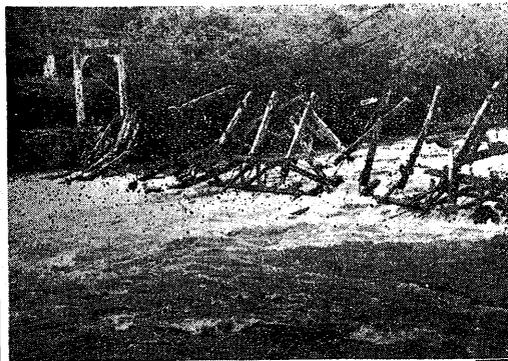
災害復興から建設へ

—◆ 災害復旧総額は3億750万円 ◆—

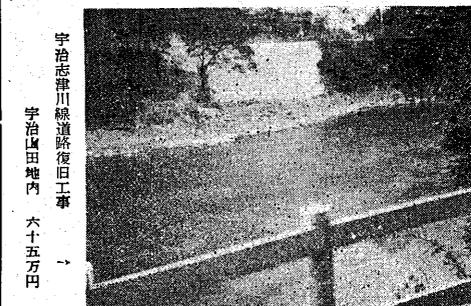
土木関係の復旧総額は3億750万円。原則としてはこれを三・五・二の比率で三ヶ年に継続実施が、その85.6%は国庫負担金である。その主なる工事は

| | | |
|--------------------------------|------------|----------|
| 西笠取河川復旧工事 | 工事費 一億円 | 延長 七千米 |
| 志津川(炭山川)河川復旧工事 | 工事費 9000万円 | 延長 四千五百米 |
| 戦川水系(支川大谷川、大蔵寺川、新田川をふくむ)河川復旧工事 | 工事費 4000万円 | |

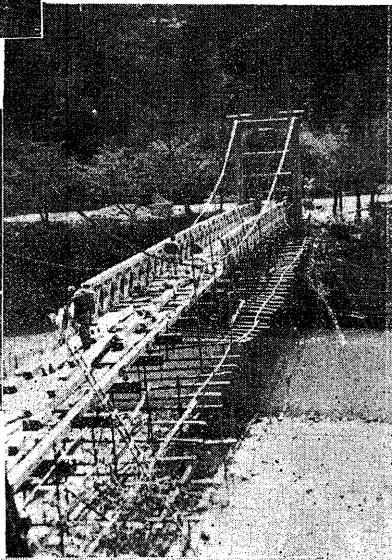
其の他大なるもの1億2000万円 河川が十三川 橋梁が二十二線等である。
昭和28年度に完成したものは、工事費 3200万円 工事ヶ所は戦川、名木川、大谷川等の各河川と、宇治志津川線等の道路、および天ヶ瀬川



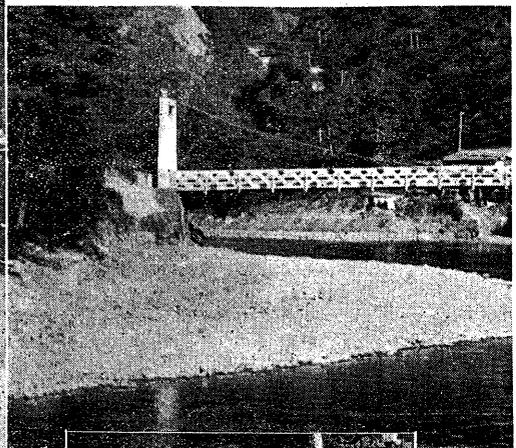
水害直後の天ヶ瀬橋たれ下つた橋板も無残である



宇治志津川線道路復旧工事
宇治山田地内 六十五万円

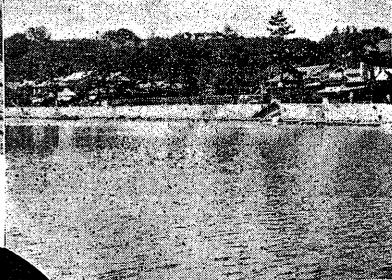


→ 工事中の
天ヶ瀬橋



白川三郷線道路復旧工事

→ 白川地内
総工事費 百萬元
工事延長
百二十七メートル



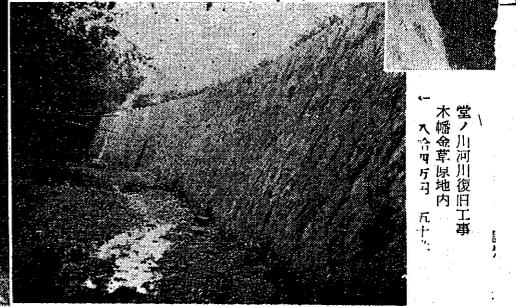
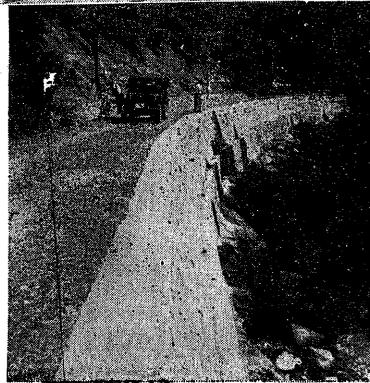
塔ノ川線道路復旧工事 工事費百八十万円
工事中の塔ノ川
工事の完成を塔ノ島から見る



宇治金井戸地先
工事費二百九十七万八千円
延長 五十四米
竣工 29.4.20



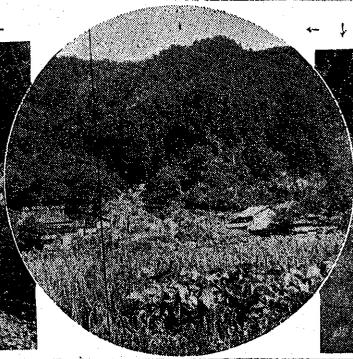
→ 宇治志津川線道路復旧工事
志津川地内
工事費 二百万円
延長 百六十米



堂ノ川河川復旧工事
木幡金草原地内
工事費約 五十万円



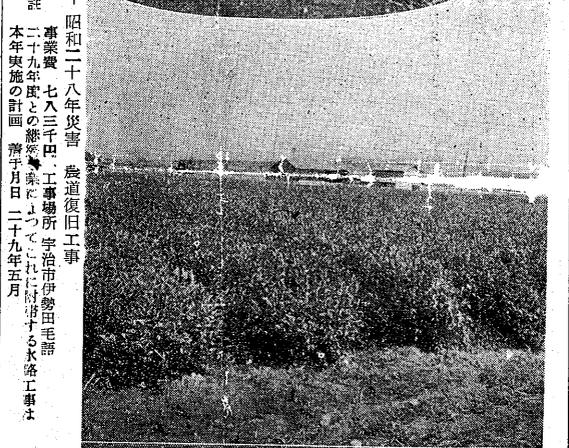
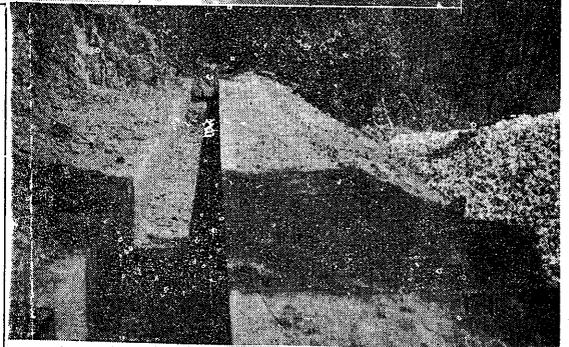
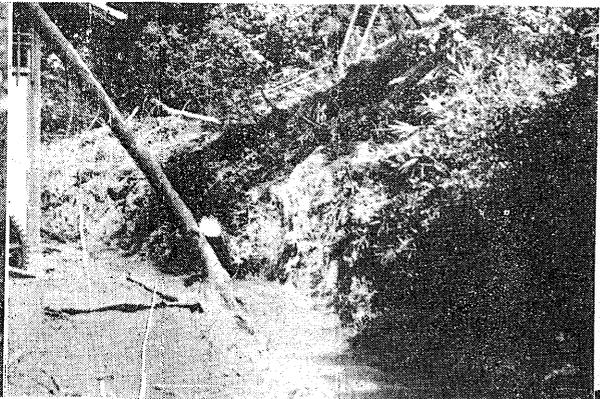
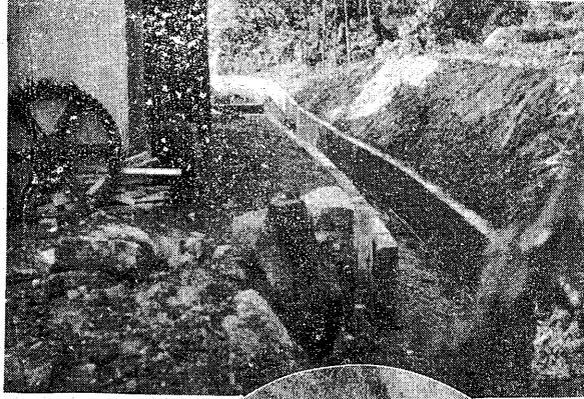
笠取下庄の山崩れで人家崩壊した現場



山崩れの土砂が流れ出し中尾草太郎氏の家屋を埋めた西笠取下庄の溪間には三段に砂防堰堤が築かれ流失の土砂を完全にくいとめている。

事業費約 150万円
昭和29年3月末日竣工

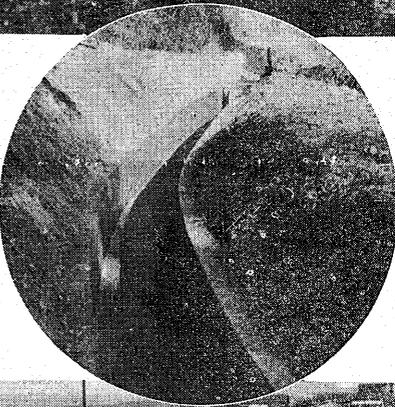
昭和二十八年災害一号水路復旧工事
 工事場所 宇治市荒道 昭和二十九年三月着手
 事業費 一〇六千円 五月完了
 ↓
 昭和二十八年九月災害直後の三号水路現場



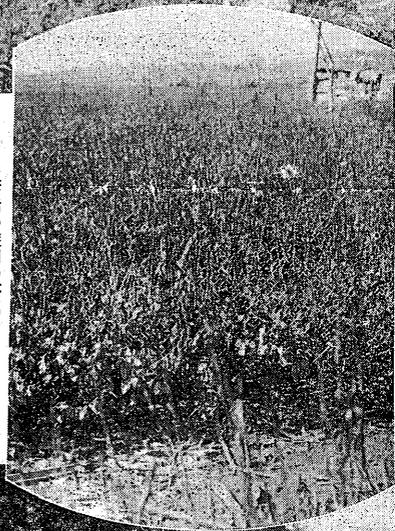
↑ 美事な茶の木の生育
 昭和二十八年災害 井原復旧工事(志津川)
 事業費 九〇千円 受益面積 一・二町
 着手月日 二十九年三月 八月完了

実りの秋に急ぐ農道水路の復旧

農林篇



↑ 昭和二十八年災害 二号水路復旧工事
 工事場所 宇治市荒道 昭和二十九年三月着手
 総事業費 一七四千円 五月 完成
 ↓
 ↑ 昭和二十八年災害 三号水路復旧工事
 工事場所 宇治市荒道 昭和二十九年三月着手
 総事業費 一〇七千円 五月 完成



↑ 災害後の遊田の茶園
 昭和二十八年九月災害直後の伊勢田現場
 直後の志津川現場
 上流より下流を望む

